

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
興譲館	2	1	0	2	0					5
矢掛	6	0	3	6	×					15×

矢：花岡一真砂、渡邊大樹

文責：谷口 未来（普通科総合コース）

敗者復活リーグに回った矢掛高校の先発は1年生右腕の花岡（木之子中）、捕手は強打の真砂（木之子中）と一年生バッテリーで勝負に出る。

- 1 回表、興譲館高校の攻撃。先頭打者に三球目を捉えられ中前打を放たれる。ここは、捕手：真砂の好送球で盗塁を刺し一死。しかし、次打者を失策で出塁させ、特大の中越三塁打を放たれ1点を先制される。さらに、暴投で2点目を失う。二死から次打者に四球を与え、嫌な流れが漂うが真砂がまたも盗塁を刺し、同級生右腕を支える。
- 1 回裏、矢掛高校の攻撃。山室（美星中）が四球で出塁し、捕逸と牽制悪送球で1点を返す。四球と盗塁などで二死二塁となり、真砂が左越二塁打を放ち同点に追いつく。さらに、高見（小北中）が死球で繋ぎ二死一・二塁とし、花岡が左越二塁打を放ち2点を勝ち越す。続く原（総社東中）の左前打に失策が絡み1点を追加し、山崎（高屋中）の死球と山室の四球で二死満塁とする。ここで興譲館高校の投手の変更。変わった投手から暴投の間に1点を挙げる。この回打者一巡の攻撃で一挙6点を挙げ、逆転する。
- 2 回表、興譲館高校の攻撃。四球と犠打などで一死三塁とされ、初回到続きピンチを招く。さらに、死球を与え一・三塁とされ、次打者の内野ゴロの間に1点を失う。
- 2 回裏、矢掛高校の攻撃。一死から山木（美星中）が四球で出塁し、続く真砂が悪送球で塁に出る。このチャンスに代打：森上（総社西中）が送られるが痛烈な二ゴロをさばかれ、追加点を奪えない。
- 3 回表、興譲館高校の攻撃。ここで矢掛高校の投手が三年生の三澤魁太に。危なげなく三者凡退。
- 3 回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の原が失策より出塁し、次打者の山崎が右前打を放つ。山室が犠打を決め二・三塁チャンスを迎えると、渡邊透弥（矢掛中）が右前打を放ち2点追加。進塁打で二死三塁とし、山木が右越三塁打を放ち、3点を追加する。
- 4 回表、興譲館高校の攻撃。先頭打者に左越二塁打を放たれ三盗を許す。さらに、中越二塁打で1点を失う。さらに、一死三塁から中前打追加点を奪われる。しかし、次打者を三振で抑え、捕手：真砂が完璧な送球で盗塁を刺し、この回を終える。
- 4 回裏、矢掛高校の攻撃。先頭への代打：佐藤（木之子中）の思い切りの良いスイングが失策を呼び、出塁。ここで、一塁走者に三澤亮太（真備東中）が送られる。次打者の三澤魁太（真備中）が左翼線に二塁打を放ち1点追加。さらに原の打球が失策となり、2点目。そして、連続四球で一死満塁のチャンスを迎え、大山の中前打で4点目。ここで興譲館高校の投手の変更。ここで、代打：猪原（高屋中）が送られるが、右飛。続く真砂は失策で出塁し再び満塁とし、代走で出場した三澤亮太が左前打を放ち、この回一挙に6点を追加し、試合を決める。
- 5 回表、興譲館高校の攻撃。先頭打者の出塁を許し、次打者の内野ゴロで走者が入れ替わる。ここで連続盗塁を決められ二死三塁とされるも、粘る最終打者から三振を奪い、コールドで試合終了。

矢掛高校は興譲館高校に15―5で勝利した。今回の試合では、昨日の反省が活かされ、しっかりとボールを選び、次に繋ぐ意識、大量得点に繋がり、「勝ち」に繋げていくことができた。思い切りのよい打撃も多く見られたことが、明日の試合の好材料だろう。新戦力の台頭もあり、プレッシャーを感じながらも安定感のある投球が

できていた。小さなミスをなくしていきチーム全員が試合を通して学んだ事を練習で改善し、ベストのプレーができるように大会で勝ち進んでいきたい。

新チームの戦績

13 勝 9 敗 2 分